

国営土地改良事業等事後評価

国営農業用水再編対策事業
「斐伊川沿岸地区」

【事後評価基礎資料】



令和5年8月時点版

中国四国農政局

目 次

第1章 事業の概要	1
1. 国営斐伊川沿岸農業水利事業の沿革と事業経緯	1
(1) 本地区の水利開発の歴史と事業化の経緯	1
(2) 本地区と前歴事業の関係	1
2. 事業の概要	3
(1) 事業の目的	3
(2) 事業概要図	4
第2章 評価項目	5
1. 社会経済情勢の変化	5
(1) 社会経済情勢の変化	5
ア. 地域社会・経済の動向	5
(2) 地域農業の動向	11
ア. 土地利用の動向	11
イ. 農業構造の動向	14
ウ. 農業生産の動向	22
2. 事業により整備された施設の管理状況	26
(1) 施設の概要	26
ア. 頭首工	26
イ. 揚水機	27
ウ. 用水路	28
エ. 汐止堰	30
オ. 水管理施設	30
(2) 施設の利用状況	31
(3) 施設の管理状況	34
3. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	35
(1) 作物生産効果	35
ア. 効果算定面積の変化	35
イ. 主要作物の作付面積の変化	36
ウ. 作物単収の変化	37
エ. 作物単価の変化	39
(2) 営農経費節減効果	41
(3) 維持管理費節減効果	41
(4) 地域用水効果	42
(5) 景観・環境保全効果等	43
(6) 国産農産物安定供給効果	43
4. 事業効果の発現状況	44
(1) 用水機能の強化	44
(2) 担い手の大規模化と担い手への集積	45
(3) 産地収益力の向上	46
ア. 「きぬむすめ」及び「つや姫」が特Aを取得	46
イ. ブロッコリー	46
ウ. 小豆	47

エ. 優良経営体事例	48
(4) 波及効果・公益的・多面的効果.....	52
ア. 農産物直売所（J Aしまね斐川グリーンセンター「花と野菜の産直市場」）	52
イ. 道の駅「湯の川」	53
ウ. 出前授業等を通じた啓発活動.....	54
(5) 費用対効果分析結果	55
ア. 算定した効果項目の比較.....	55
5. 事業による環境の変化	57
(1) 生活環境面の変化	57
ア. 景観・親水施設	57
イ. 生活用水としての機能向上.....	58
ウ. 防火用水	59
(2) 自然環境面の変化	60
ア. 魚道整備による生態系への配慮.....	60
イ. 魚巣ブロック等の整備による生態系への配慮.....	60
6. 今後の課題等	62
(1) 施設の適正な管理	62
(2) 担い手の育成・確保	62

【用語解説】

本資料をとりまとめるに当たって用いた“地域を表す用語”の概念や統計資料等の集計範囲は、以下のとおりとした。

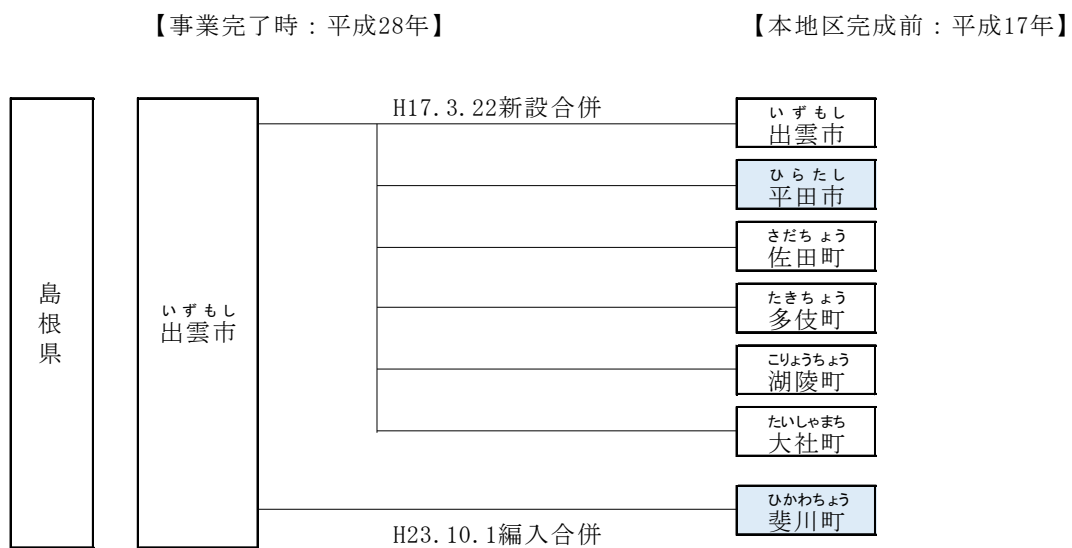
「島根県」＝島根県全域

「関係市」＝出雲市（旧出雲市・旧平田市・旧佐田町・旧多伎町・旧湖陵町・旧大社町・旧斐川町）

「本地域（関係旧市町村）」＝「斐伊川沿岸地区」の受益地に関係する旧市町村（旧平田市・旧斐川町）
※斐伊川沿岸地区の受益地は、旧斐川町と旧平田市の一部である。

《関係市町村の合併状況》

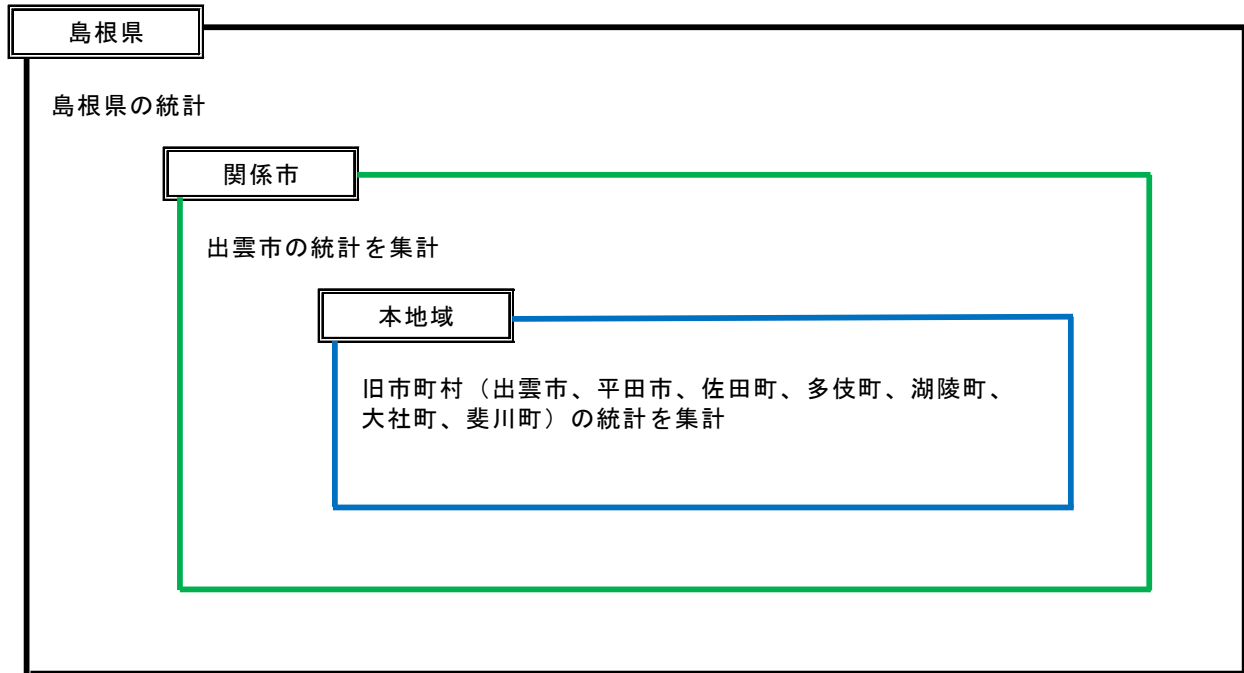
平成17年3月に旧平田市と旧出雲市他4町が合併して出雲市となり、さらに平成23年10月に旧斐川町が合併して出雲市となった。



注）青色は、本事業に関係する旧市町村

※出雲市：平成17年3月22日 出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町と新設合併
平成23年10月1日 斐川町が編入合併

《概念図》



《概要図》



第1章 事業の概要

1. 国営斐伊川沿岸農業水利事業の沿革と事業経緯

(1) 本地区の水利開発の歴史と事業化の経緯

昭和9年(1934年)、地域の農業用水を確保するため県営斐伊川沿岸農業水利改良事業が着工され、左右両岸頭首工や幹線用水路等が整備された(戦時中は事業一時中止され完成は昭和24年(1949年)となった)が、出雲平野や宍道湖・中海周辺地域では、農業用水不足の完全な解決には至らなかった。

昭和29年(1954)、島根県は、宍道湖・中海の大規模干拓並びに淡水化による用水源確保と斐伊川の治水対策を結びつけた「斐伊川・宍道湖・中海総合開発計画」を策定し、調査を開始した。

昭和30年(1955)、地元の要請を受けた農林水産省は、中海干拓と沿岸農業水利事業の総合的な調査計画を進め、昭和38年(1963)に国営中海土地改良事業を着手した。

しかし、中海の水質悪化への懸念などの事業を取り巻く諸情勢の変化から、地元の要請を受けて、昭和63年(1988)に鳥取・島根両県と協定書」を締結し、宍道湖・中海の淡水化試行及び本庄工区の干拓工事の延期を決定した。

宍道湖の淡水化が中断している中で、地域では中海干拓附帯農業用排水事業(斐伊川左岸地区)(昭和55年(1980)～63年(1988))、国営斐伊川下流土地改良事業(平成元年(1989)～10年(1998))により用水補給を図ったが、新たな農業用水確保対策として、平成17年(2005)から国営斐伊川沿岸農業水利事業(本地区)が着工され、平成28年(2016)に完了している。

(参考：国営斐伊川沿岸農業水利事業 技術誌：平成29年3月)

(2)本地区と前歴事業の関係

国営斐伊川沿岸農業水利事業の受益地のうち、斐伊川左岸下流部では、国営中海土地改良事業の一環として、干拓附帯農業用排水事業(昭和38～59年度)により、中海干拓の残水域及び宍道湖を淡水化することで、農業用水を確保し、水田の用水補給及び普通畑の畑地かんがいを整備する計画であった。

しかし、中海・宍道湖の淡水化延期の中、当面の対応として国営斐伊川下流農業水利事業(平成元～10年度)により、幹線用水路の改修等を行うとともに、揚水機場等を設置し、地区内の貯留水や還元水を有効利用することにより、必要な用水を確保することとした。

斐伊川左岸・右岸下流部は、農業用水の不足が改善されていないため、国営斐伊川沿岸農業水利事業(平成17～28年度)により、取水口及び用水路等の改修、汐止堰及び右岸導水路等の新設により、農業用水の安定的な供給と施設の維持管理を軽減し、農業生産性の向上と農業経営の安定を図ることとした。

表1-1 前歴事業・本事業の概要

	事業名	事業期間	関係市町村	整備内容
1	国営中海土地改良事業 (干拓附帯 農業用排水)	昭和38～59年度	旧平田市	中海・宍道湖の淡水化に伴い、水田の用水補給・畑地かんがいの整備
2	国営斐伊川下流農業水利事業	平成元～10年度	旧斐川町	中海・宍道湖の淡水化延期に伴い、幹線用水路の改修・揚水機場等設置により地区内貯留水・還元水を有効利用
3	国営中海土地改良事業(廃止処理) (干拓附帯 農業用排水)	平成16～26年度	旧平田市	1で造成した施設の廃止処理(取壊し等)
4	国営斐伊川沿岸農業水利事業	平成17～28年度	旧平田市 旧斐川町	淡水化に替わる新たな農業用水確保対策として農業用水利施設の整備(本事業)

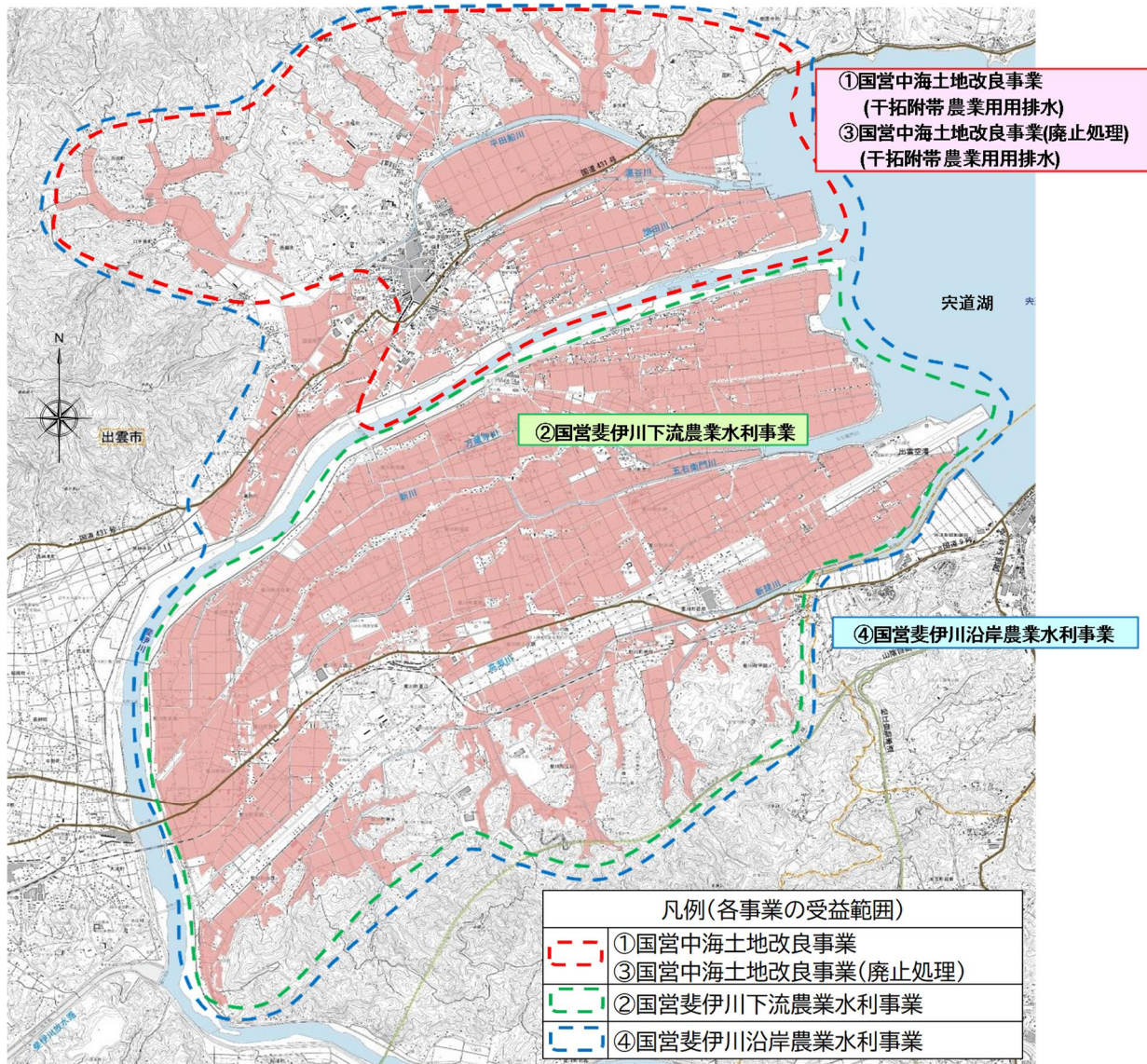


図1-1 前歴事業と本事業の受益区域図

2. 事業の概要

(1) 事業の目的

本地区は、島根県出雲市東部の斐伊川下流の出雲平野に位置し、約 3,700ha からなる県下有数の農業地域であり、水稻を中心に、麦、大豆、野菜、果樹、花き等を組み合わせた複合経営が営まれている。

本地区の農業用水は、主に斐伊川に依存し、取水口をはじめとする地区内の農業水利施設は、昭和10年代から昭和30年代を中心に県営事業等により整備されてきたが、古来より斐伊川は河床が細砂のため、流路変動が激しいことや河床低下により斐伊川からの安定的な取水が困難なことから、慢性的な農業用水の不足をきたし、ため池の活用や排水の反復利用の促進を図るなど、農業用水の確保に苦慮してきた。

このような中で、国営中海土地改良事業により淡水化される宍道湖を水源とし、同事業及び国営斐伊川下流土地改良事業(平成元年度～平成10年度)により、揚水機場や地区内用水路等の整備を行い、安定的な農業用水の確保を図ることとしていたが、社会情勢の変化により淡水化が中止されたことから、依然として、慢性的な農業用水の不足等を余儀なくされていた。また、宍道湖からの塩分遡上防止のために設置されている汐止堰及び用水路等の農業水利施設は、老朽化による機能低下、調整容量の不足等が生じており、施設の維持管理やほ場の水管理に多大な労力と費用を要している。

このため、本事業では、取水口及び用水路等の改修、汐止堰及び右岸導水路等の新設により、農業用水の安定的な供給と施設の維持管理を軽減し、農業生産性の向上と農業経営の安定を図るとともに、併せて、地区内の農業用水が従来から有している地域用水機能の増進に資するものである。

表1-2 事業の目的

項 目	内 容
事 業 名	国営かんがい排水事業
地 区 名	斐伊川沿岸
関 係 町	島根県出雲市（旧平田市、旧斐川町）
受益面積	3,728ha（水田：3,404ha、畑：297ha、樹園地：27ha）
受益者数	4,897人
事業期間	平成17 年度～平成28 年度
事 業 費	216.4 億円（決算額）
主要工事	1) 斐伊川左岸 ・用水路の新設・改修：14.4 km(国富、浜井手、湯谷川等) ・揚水機場除塵機等の改修：2 箇所(桧山、天神) ・汐止堰の新設：1 箇所(平田船川) ・水管理システムの整備：1 式 2) 斐伊川右岸 ・取水口の改修：1 箇所(右岸頭首工取水口) ・用水路の新設・改修：31.7 km(鳥越、南神立、砂川、島村、右岸導水路、右岸配水路等) ・調整池の整備：1 箇所(馬の背調整池) ・揚水機場の改修：1 箇所(以南東部) ・水管理システムの整備：1 式

資料：国営斐伊川沿岸農業水利事業 技術誌（平成29年3月）

(2) 事業概要図

